

# 令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の幅広い進路実現に対応したカリキュラム・マネジメントを実践する。</li> <li>・基礎学力の定着と発展的学習による学力の向上に合わせた学習指導を充実させる。</li> <li>・生徒の主体的・協働的な学習への取組を充実させ、学びに向かう力の向上を目指した授業を実践する。</li> <li>・学校行事や生徒会活動等の活性化と生徒の主体的な取組の充実を図る。</li> <li>・多文化教育の充実を図り、生徒の異文化理解、国際理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒が学ぶことの意義を実感し、主体的・協働的に学習に取り組む姿勢を育成する。</li> <li>②1人1台端末を効果的に活用にして「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、問題発見・解決能力や情報活用能力を高める。</li> <li>③地域とも連携しながら多文化教育をさらに推進し、生徒の異文化理解、国際理解及び外国語運用能力の伸長を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①カリキュラム委員会を中心に、生徒の幅広い進路実現に向けた選択科目の設定をさらに検討・検証していく。</li> <li>②授業研究委員会の実践方針に沿って、授業見学と研修会を実施し、学習用端末の効果的な利用を図っていく。</li> <li>③多文化教育支援チームや関係グループを中心に、各教科や総合的な探究の時間等において多文化教育を組織的に実施し、異文化理解を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の進路希望に応じた適切なカリキュラム及び選択科目の設定を進めることができたか。</li> <li>②授業研究委員会で企画した授業見学・研修会を活用し、主体的・協働的な学びに向けた授業実践及び1人1台端末を活用し、問題解決・情報活用能力を高める授業を展開できたか。</li> <li>③各教科や総合的な探究の時間等で多文化教育を推進する取組がなされたか。また、参加した職員・生徒数の推移や生徒の変容をアンケート等で検証する。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の活性化と生徒の主体的な取組の充実を図る。</li> <li>・生徒の自律心を育て、基本的生活習慣の確立と授業規範や生活規範意識の向上を目指す。</li> <li>・個々の生徒に応じた相談体制の充実と、安心して学び充実感の得られる学校づくりを進める。</li> <li>・相手を尊重する心を培い、コミュニケーション能力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的な生活習慣を定着させるとともに、自己肯定感を高め、さまざまな行動を起こすことができる。</li> <li>②リーダーシップを発揮して、主体的に学校行事や部活動等に取り組むことができる。</li> <li>③SC、SSW、教育相談コーディネーターを活用し、外部機関とも連携しながら教育相談体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公共マナーを身に付けさせるために、組織的に遅刻、服装・頭髪指導、貴重品管理の徹底等を行い、集団生活のルールを遵守させる。</li> <li>②部活動等において部活動指導員やインストラクターとも連携し、生徒の活動を活性化させる。</li> <li>③SCやSSW、教育相談コーディネーター、保護者、地域、外部機関と連携し、人権を尊重した支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒が規範意識を持って学校生活を送ることができるよう組織的な取組ができたか。</li> <li>②顧問を中心に部活動指導員やインストラクターの指導のもと、生徒が安全に活動でき、離脱することなく継続できたか。</li> <li>③アセスメントやフィードバック、サポートドック等、必要な情報を多角的な視点から集め、生徒の支援のために活用できたか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりのキャリア諸能力の段階的な</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本校の学習環境も有効に活用し、キャリア諸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①外部の教育ツールについて、職員へ活用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②外部の教育ツールを教科指導面、進路指導</li> </ul>

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
	<p>育成を目指し、生徒の主体的な進路選択と進路実現への支援の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな視野を培い、生徒が自らの適性を活かして将来を切り拓く力を育む。</li> </ul>	<p>能力を段階的に高め、自己実現に繋げることができる。</p> <p>②外部機関等も活用して、自らの適性や能力を理解し、主体的な進路活動ができる。</p>	<p>等の情報提供を行い、教科指導面、進路指導面で活用する。学力テストや作文模試を効果的に配置し、生徒のキャリア能力を伸長する。</p> <p>②校内模試等を実施し、生徒の主体的なスキルアップを図る。</p> <p>③外部機関等と連携し、在県生徒をはじめ、多様な進路希望の実現に向けた支援を行う。</p> <p>④進路室の資料の展示場所や展示方法を工夫し、生徒が情報を得やすい環境を整える。</p>	<p>面で活用し、生徒が自らの進路を拓くための主体性を育むことができたか。</p> <p>③外部機関等との連携を図り、生徒個人の適正・能力を生かす進路指導に繋がる情報発信、支援ができたか。</p> <p>④生徒が情報を得やすい環境を整え、生徒が主体的に進路活動を行うことができるようにサポートできたか。</p>
4	<p><b>地域等との協働</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域との協働を深め、地域に根ざした教育活動を充実し、信頼される学校づくりを目指す。</li> <li>・本校の教育活動の情報発信に努める。</li> </ul>	<p>①地域との協働を深め、活躍する場を増やし、社会参加意欲を高める。</p> <p>②学校の魅力を積極的に中学生・保護者に発信する。</p>	<p>①地域団体等との連携を深め、生徒が主体的に活動する場面を増やしていく。</p> <p>②中学生や保護者が、本校でより学びたいと思えるような広報活動を行う。</p>	<p>①生徒の主体的な活動を充実させられたか。</p> <p>②HP や学校案内、説明会等での情報発信内容を充実させ、効果的に本校の教育活動の魅力を発信できたか。</p>
5	<p><b>学校管理 学校運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の実践的指導力を高め、生徒の安全・安心を確保し、学校の安全対策を強化し、県民から信頼される学校づくりを進める。</li> </ul>	<p>①自然災害や、事故・事件、犯罪などに備えて、緊急時には適切に判断し、自らの安全を確保することができる。</p> <p>②ICTの利活用をはじめ業務の効率化・スリム化を図り、「働き方改革」を推進する。</p>	<p>①災害時対応マニュアルの作成・改訂をはじめ、職員・生徒への周知徹底を図る。</p> <p>②企画会議や衛生委員会を中心に業務精選・業務移管について検討を進める。会議資料等は極力電子配信し、ペーパーレスに努める。</p>	<p>①マニュアルのダイジェスト版を作成し、職員に配付できたか。適切な防災訓練を企画・実施ができたか。</p> <p>①みどり支援学校分教室との連携がとれたか。</p> <p>②衛生委員会等を中心に職員アンケートを行い、多忙化が軽減されたかどうかを検証する。</p>